

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社ひらまつ 上場取引所 東  
コード番号 2764 URL <https://www.hiramatsu.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 三須 和泰  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 服部 亮人 TEL 03-5793-8818  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,572	△10.1	418	35.3	414	77.6	464	△77.2
2025年3月期第3四半期	8,422	△20.9	309	△20.5	233	△29.8	2,031	590.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 454百万円(△77.7%) 2025年3月期第3四半期 2,032百万円(497.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	6.57	—
2025年3月期第3四半期	28.78	27.79

2026年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	12,000	6,355	52.8
2025年3月期	12,142	5,895	48.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 6,333百万円 2025年3月期 5,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,771	△8.4	181	△27.1	172	△0.7	211	△86.2
								2.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	74,740,400株	2025年3月期	74,740,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	4,092,989株	2025年3月期	4,138,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	70,625,045株	2025年3月期3Q	70,598,213株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における日本経済は、個人消費やインバウンド需要の回復基調が続いたものの、円安による物価上昇の長期化や人手不足などの影響により、飲食業界全体では依然として厳しい経営環境が続きました。こうした環境の中、当社グループは「中期経営計画2030」の初年度として掲げた事業基盤の強化・拡大および生産性向上に向けた取り組みを着実に継続し、各事業において付加価値提案の強化、価格適正化、オペレーション改善を通じて、収益性の改善に努めてまいりました。

レストラン事業につきましては、最大の商戦期であるクリスマスおよび年末に向けた各種企画を早期に市場へ投入し、計画的な集客を推進したほか、提携する海外ブランドのシェフを招いたガラディナーの開催など、当社ならではの施策を展開し、集客力の強化を図りました。また、「中期経営計画2030」に基づく既存店投資として実施した「メゾン ポール・ボキューズ」（代官山）のリニューアル後において、集客および客単価が想定を上回って推移するなど、各店舗における施策の効果も相まって客単価が改善しました。二子玉川「代官山ASOチェレステ 二子玉川店」閉店の影響はあったものの、売上は前年同期を上回り、2025年11月6日に公表した修正後の通期業績予想に対しても、想定を上回るペースで推移しました。また、「中期経営計画2030」に基づく新規出店案件として、東京都渋谷区恵比寿において新店舗「HRMT STAGE」を2026年2月に開業予定であり、現在、開業に向けた準備を進めております。

ブライダル事業につきましては、「メゾン ポール・ボキューズ」（代官山）のリニューアルが完了し、その効果を背景に、当第3四半期連結累計期間における婚礼の実施組数は前年同期を上回りました。また、招待人数の増加を促す施策および飲食の単価向上施策が引き続き奏功したことから、組単価は前年同期を上回る水準で推移しました。この結果、売上は前年同期を上回り、通期業績予想の達成に向けて、想定を上回るペースで推移しました。その後の受注動向も踏まえると、組単価の上昇基調が継続していることから、通期の売上は業績予想を上回る見通しであります。

ホテル事業につきましては、ホテル資産譲渡に伴いMC契約（マネジメント契約）へ移行したことから、前年同期との比較では減収となりました。運営面につきましては、同等価格帯のホテル開発が進むなど競争環境が引き続き厳しい中、価格改定や付加価値提案の強化により客単価は概ね高水準で推移しました。一方で、エリアごとの需要特性や旅行コスト動向、宿泊供給の増加等の影響により、施設間で稼働率に差が生じ、一部施設では稼働が伸び悩みました。これらを踏まえ、エリア特性や需要動向に応じた価格戦略の運用に加え、サービス内容の磨き込みや情報発信の強化に継続して取り組んでおります。

その他事業につきましては、「カフェディオール パイ アンヌ＝ソフィー・ピック」をはじめとする運営受託事業が引き続き堅調に推移したことに加え、プレミアムシャンパーニュセットやブルゴーニュ産ワインセットなど高価格帯商品のオンライン販売が好調に推移しました。この結果、売上は前年同期を上回り、通期業績予想に対しても堅調な進捗となりました。

利益面につきましては、「中期経営計画2030」で掲げる生産性向上の取り組みが着実に進展し、人件費の適正化およびコストコントロールに継続して取り組んできたことに加え、各事業における収益性改善の効果が表れました。その結果、営業損益および経常損益は前年同期を上回る水準となり、通期業績予想に対しても想定を上回る進捗となりました。さらに、税制上の効果も寄与したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、通期業績予想に対して高い進捗となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高7,572百万円（前年同期比10.1%減）、営業利益418百万円（前年同期比35.3%増）、経常利益414百万円（前年同期比77.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益464百万円（前年同期比77.2%減）となりました。なお、売上高についてはホテル事業のMC契約への移行により前年同期比では減収となっているものの、人件費を中心としたコストコントロールの効果により、営業利益および経常利益は通期業績予想に対して想定を上回る進捗となっております。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期にホテル資産の売却に伴う特別利益を計上していた反動により、前年同期比で減少しております。

これらの業績動向を踏まえ、2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、2025年11月6日に公表した前回予想を上方修正しております。なお、当該業績予想の修正の詳細につきましては、同日に公表した「2026年3月期通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

また、ホテル事業のMC契約への移行に伴い、譲渡日以降の収益は運営受託報酬として「その他」セグメントに計上しておりましたが、当第3四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を見直し、単一セグメントとして開示しております。このため、セグメント別の経営成績の記載を省略しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ142百万円減少し、12,000百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,314百万円減少し、固定資産、原材料及び貯蔵品がそれぞれ、578百万円増加、401百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ602百万円減少し、5,644百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が586百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ460百万円増加し、6,355百万円となりました。これは主に、利益剰余金が464百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月6日に公表いたしました業績予想を修正しております。なお、当該業績予想の修正の詳細につきましては、同日に公表いたしました「2026年3月期 通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,645,161	5,330,763
売掛金	547,464	663,686
原材料及び貯蔵品	1,659,667	2,061,258
その他	574,506	650,581
貸倒引当金	△3,154	△3,127
流動資産合計	9,423,644	8,703,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,373,500	1,595,154
その他（純額）	282,875	489,463
有形固定資産合計	1,656,375	2,084,618
無形固定資産	24,058	30,309
投資その他の資産		
敷金及び保証金	952,300	1,011,894
その他	85,694	170,069
投資その他の資産合計	1,037,995	1,181,963
固定資産合計	2,718,429	3,296,890
資産合計	12,142,074	12,000,053

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	420,915	650,661
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	230,000	230,000
本社移転費用引当金	30,800	-
未払法人税等	32,215	23,277
契約負債	368,485	297,744
資産除去債務	65,490	45,900
その他	1,295,845	752,009
流動負債合計	4,143,752	3,699,593
固定負債		
長期借入金	1,897,500	1,725,000
資産除去債務	205,607	206,010
その他	13	14,157
固定負債合計	2,103,120	1,945,168
負債合計	6,246,872	5,644,761
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	7,645,077	7,628,461
利益剰余金	56,240	520,357
自己株式	△2,042,934	△2,020,305
株主資本合計	5,758,382	6,228,513
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	115,298	105,258
その他の包括利益累計額合計	115,298	105,258
新株予約権	21,520	21,520
純資産合計	5,895,201	6,355,291
負債純資産合計	12,142,074	12,000,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	8,422,641	7,572,114
売上原価	3,660,061	3,303,550
売上総利益	4,762,579	4,268,564
販売費及び一般管理費	4,453,271	3,850,067
営業利益	309,308	418,497
営業外収益		
受取利息	603	8,334
業務受託料	5,823	7,969
受取賃貸料	15,344	17,549
その他	30,099	11,095
営業外収益合計	51,869	44,948
営業外費用		
支払利息	40,837	30,550
社債利息	239	-
アレンジメントフィー	80,000	-
為替差損	226	15,838
その他	6,401	2,370
営業外費用合計	127,706	48,759
経常利益	233,471	414,685
特別利益		
固定資産売却益	1,808,212	-
本社移転費用引当金戻入額	-	12,785
特別利益合計	1,808,212	12,785
特別損失		
固定資産除却損	-	2,952
特別損失合計	-	2,952
税金等調整前四半期純利益	2,041,684	424,518
法人税、住民税及び事業税	24,318	23,277
法人税等調整額	△14,441	△62,876
法人税等合計	9,876	△39,598
四半期純利益	2,031,807	464,117
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,031,807	464,117



四半期連結包括利益計算書  
第 3 四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,031,807	464,117
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	222	△10,040
その他の包括利益合計	222	△10,040
四半期包括利益	2,032,030	454,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,032,030	454,077
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの報告セグメントは、レストラン事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは、従来「レストラン事業」と「ホテル事業」に区分しておりましたが、当第3四半期連結累計期間から、「レストラン事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「ホテル事業」のMC契約への移行に伴い、譲渡日以降の売上が当社に帰属しなくなったため、「レストラン事業」の単一セグメントとすることが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

この変更により、前3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間におけるセグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	282,214千円	152,874千円